

# 報道資料

令和 5年 4月 吉日

1 件 名	企画展「山口市の未指定文化財 vol.1 ー多彩な歴史文化資源の紹介ー」の開催について
2 日 時	会期：4月29日（土）～7月2日（日） 前期：4月29日（土）～5月28日（日） 後期：6月1日（木）～7月2日（日） 休館日：毎週月曜日 展示替え（5月29日（月）～5月31日（水）） 開館時間：9:00～17:00 ※入館は16:30まで
3 場 所	山口市歴史民俗資料館（春日町5番1号）
4 内 容	<p>本展では、山口市に残る多彩な歴史文化資源を紹介します。歴史文化資源とは、あらゆる歴史的・文化的所産のことをいいます。</p> <p>現在の山口市は、平成に行われた一連の合併によって人口や面積が大幅に増加することとなり、あわせて歴史文化資源もその質量が拡充されました。しかし、時代や社会の移り替わりとともに人々の生活様式は変貌を遂げることとなり、保存・継承・活用に人の手を要する歴史文化資源は、存亡の危機に直面しているものもあります。</p> <p>現在、山口市では、未指定文化財調査として市内に残る文化財指定を受けていない未知・既知の史資料を調査し、記録しています。この調査は、新たな歴史文化資源を掘り起こすためだけでなく、市の歴史や文化を未来に残すための重要な基礎作業でもあります。</p> <p>これまで、調査を経て指定文化財になった史資料は、当館における「新指定文化財速報展」にて成果報告をしてきました。一方、未指定文化財については企画・特別展示において部分的・個別的な紹介に留まっていました。</p> <p>そこで本展では、さらなる山口市の歴史文化資源の魅力を発信するために、未指定文化財調査を実施した関係各所から史資料をお借りして、調査成果を紹介します。また、本展で取り上げられなかった市内地域については、今後も同様の場を設けて取り上げていくこととします。</p>



山口市

○紹介する寺社と主な展示資料

- ・ 禅昌寺（小鯖）  
雲谷等益「山水人物花鳥図押絵貼屏風」  
雲谷等祚「桜花図屏風」
- ・ 仁壁神社（大殿）  
木造獅子頭  
「仁壁神社文書」（大内氏・毛利氏関係文書）
- ・ 玄濟寺（吉敷）  
毛利秀包像（新出資料）  
吉敷毛利家で使用された大内塗椀

○イベント

ギャラリートーク（30分）

5月21日（日）・6月18日（日） 13:30～14:00

5 出席者

山口市歴史民俗資料館 〒753-0073 山口市春日町5番1号  
6 問い合わせ Tel/Fax : 083-924-7001 / E-mail : yrekimin@c-able.ne.jp  
URL : <https://yrekimin.jp/>



# 山口市の 未指定 文化財 vol.1

多彩な歴史文化資源の紹介

会期 2023年4月29日(土)  
～7月2日(日)

山口市歴史民俗資料館

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜 展示替え(5月29日(月)～5月31日(水))

観覧料 一般110円(20人以上団体割引)

※18歳以下の方、70歳以上の方、障がいがある方とその付添いの方は無料

「桜花図屏風」(部分) (所蔵 禅昌寺(小鯖))



▲雲谷等璠「雪景山水図」(所蔵 仁壁神社(大殿))



▲「獅子頭」  
(所蔵 仁壁神社(大殿))



▲「大内塗椀」  
(所蔵 玄濟寺(吉敷))

山口市では、市内に残る歴史文化資源の把握と継承を目的として「未指定文化財調査」を実施しています。

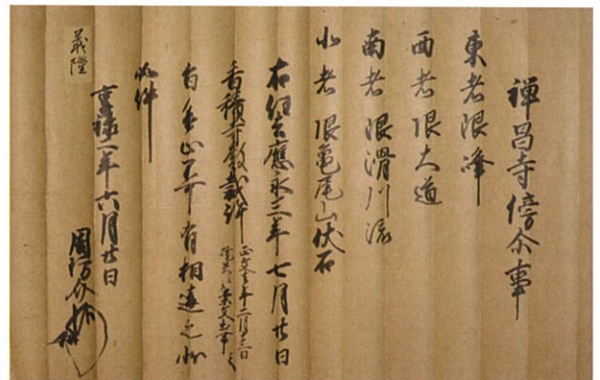
本展は、その成果報告として市内に残る未指定文化財を紹介し、市の歴史や文化にまつわる情報を共有する場といたします。



▲「毛利秀包像」(所蔵 玄濟寺(吉敷))



▲「桜花図屏風」(所蔵 禅昌寺(小鯖))



▲「大内義隆安堵状」(所蔵 禅昌寺(小鯖))



[住所] 〒753-0073 山口県山口市春日町5番1号  
 [TEL / FAX] 083-924-7001  
 [メール] yrekimin@c-able.ne.jp  
 [アクセス] 新山口駅より  
 JR山口線 山口駅下車徒歩 25分  
 バス 山口県庁前下車徒歩 5分  
 中国自動車道  
 小郡ICより 20分  
 山口ICより 15分  
 湯田スマートICより 15分  
 [URL] <https://yrekimin.jp/>



## 山口市歴史民俗資料館 概要

「西の京」と呼ばれ、香り高い文化の花が咲いた大内時代の山口。近代国家成立のため、多くの志士たちが活躍し明治維新の策源地となった山口。

山口市は豊かな歴史を有し、またそれを実証する多くの遺跡が残っています。

当資料館は、その歴史・民俗・考古に関する資料の保存と活用をはかるとともに、郷土の歴史と文化に対する市民の知識と理解を深め、市民文化の向上に資することを目的に設置されました。

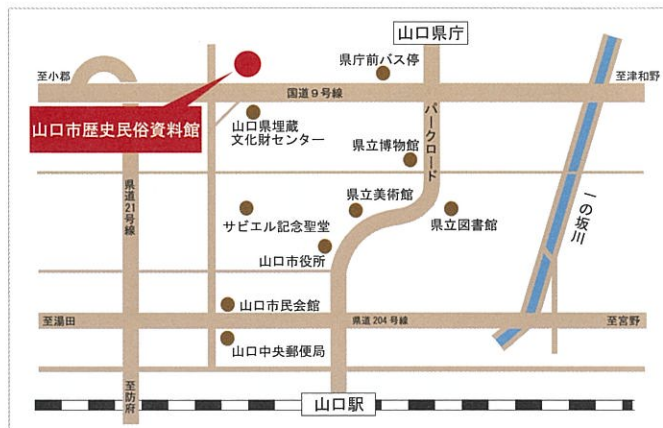
- \*開館 昭和56年
- \*構造 鉄筋コンクリート
- \*敷地面積 3,310㎡
- \*建物面積 1階 515.20㎡、2階 232.65㎡
- \*収蔵点数 約30,000点



薩摩切子脚付杯

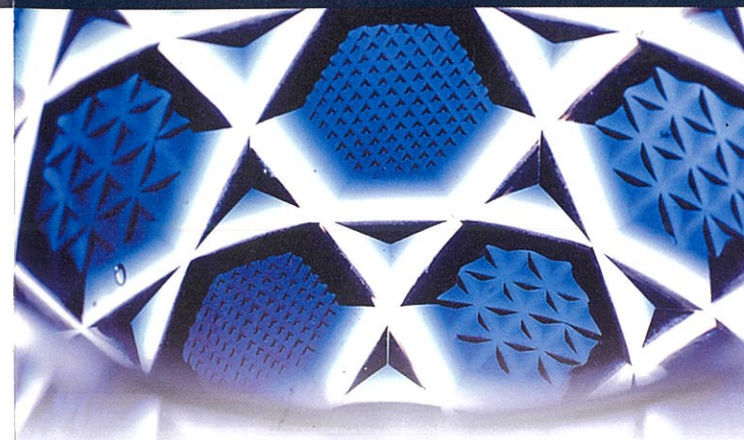
## ご利用案内

- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日振替休館) 年未年始 (12/29 ~ 1/3)
- 観覧料 / 110円  
\*18歳以下・70歳以上の方、障がいがある方は無料  
\*20名以上は、団体割引料金で観覧できます。  
団体観覧料についてはお尋ねください。
- 交通 / 山陽新幹線 新山口駅下車  
(JR山口線・バス乗換)  
JR山口線 山口駅下車徒歩約25分  
バス停 山口県庁前下車徒歩3分



## Yamaguchi Historical Museum 山口市歴史民俗資料館

〒753-0073 山口県山口市春日町5番1号  
TEL/FAX 083-924-7001  
e-mail yrekimin@c-able.ne.jp  
URL <http://www.c-able.ne.jp/~yrekimin>



Yamaguchi Historical Museum

## 山口市歴史民俗資料館



## 常設展示スペース

山口市は、大内氏の本拠地として栄えた中世をはじめ、地域ごと、時代ごとに特色ある歴史と文化をもっています。それらを、さまざまな資料から紹介します。



越荷方会所札



耳付白磁杯



祇園祭山鉾人形頭



須恵器甕



弥生土器



須恵器



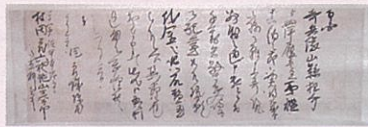
大内義隆花押

花押を  
押してみよう!

触ってみよう!

## 企画展示スペース

幕末の山口や、山口のくらしと文化、遺跡に関わるテーマで、年に数回、企画展を開催します。



伊藤博文書簡

久坂玄瑞  
常用湯呑



大村益次郎  
肖像画



鶴松竹蒔絵鏡台



・大内文化の遺産



干城隊旗

視聴覚コーナー

## こめづくりのいちねん

近世から現代までに、山口市内で稲作に使われていた農具を展示しています。米づくりの過程を農具をとおしてみることができます。



荒犁



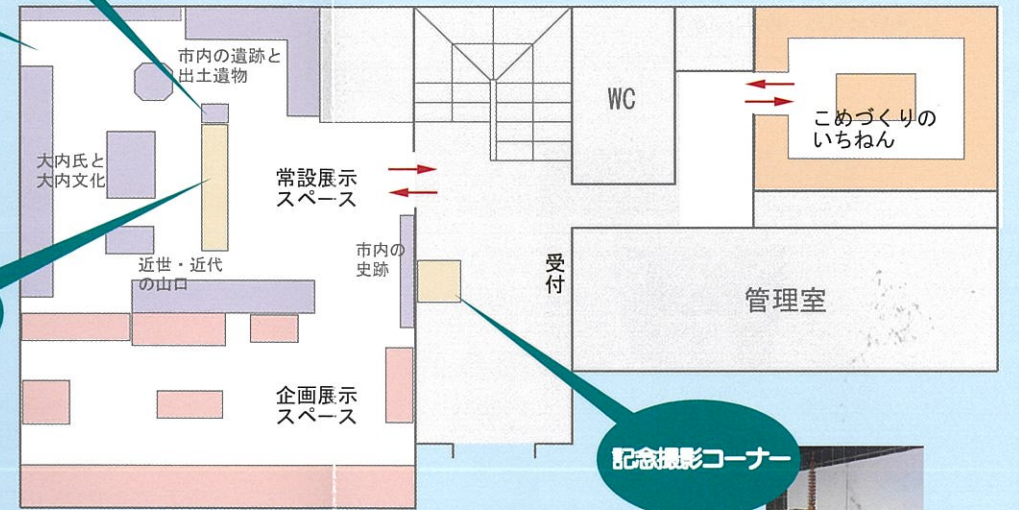
田植え枠



足踏み式脱穀機



縄ない機



## 館内見取り図

1階には展示室、2階には講座等に使う学習室があります。書籍購入は受付へお申し出ください。

